**チャレンジ「家庭可燃ごみ１０％減量化作戦」**

町では、一般廃棄物処理計画を策定し、住民や事業者の皆さんのご協力のもとに資源が循環する「循環型社会」の形成に向けた取り組みを進めています。このためには、一人ひとりが廃棄物の発生・排出抑制・資源化などの「ごみ問題」を意識した、環境に配慮した生活や行動が求められています。

町では、５月３０日「ごみゼロの日」を契機として、６月から「家庭可燃ごみ１０％削減化作戦」を実施します

　**平成３０年度の家庭可燃ごみ量を、平成２８年度の家庭可燃ごみ量**

**（総量３，０８０ｔ、１日１人当たり３７３ｇ）の１０％にあたる**

**３０８ｔの削減を目指します。**

揖斐川町の可燃ごみは、（西濃環境整備組合搬入量）西濃環境整備組合HPより）

２８年度の家庭可燃ごみ３，０８０t　個別持込１，０４６t　合計４，１２６t

２８年度の揖斐川町負担金は、９，７５９万円　２３，６５２円／ｔ

ちなみに、３０８ｔで７２８万円の焼却費用が節約できます。

西濃環境整備組合全体のごみの収集組成　平成28年度　単位：％

ごみ質　紙・布類の著しい増加とともにビニール・合成樹脂類の混入も依然としてあり、収集段階における分別・リサイクル指導を徹底強化しなければならない。

**今後の取組**

**家庭可燃ごみ１０％削減化作戦で4つの作戦を推進していきます。**

1. **生ごみの水切りの推進（水分を減らす工夫をしましょう）**
2. **生ごみの堆肥化の推進（生ごみをたい肥にしリサイクルしましょう）**
3. **食品ロスの減少の推進（買いすぎず、使い切り、食べ切りましょう）**
4. **生ごみと紙・布の分別の推進（分別して資源にしましょう）**